

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回所沢市産業振興ビジョン推進会議
開 催 日 時	令和8年7月8日（水） 14:00～16:00
開 催 場 所	所沢市役所 8階大会議室
出 席 者 の 氏 名	（会議に参加した委員） 半田 若菜、後藤 功児、木村 良孝、三上 誠、鈴木 慎哉、 深井 隆正、堺 奈都、河藤 佳彦、宮嶋 和義
欠 席 者 の 氏 名	朝倉 はるみ、観山 恵理子
説明者の職・氏名	なし
議 題	（1）所沢市産業振興ビジョン及び本推進会議について （2）第2次所沢市産業振興ビジョンについて （3）今後のスケジュールについて （4）その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 席次表 ・ 資料1：所沢市産業振興ビジョン推進会議の概要 ・ 資料2：第2次所沢市産業振興ビジョン策定について ・ 資料3：第2次所沢市産業振興ビジョン策定スケジュール（案） ・ 所沢市産業振興ビジョン推進会議条例 ・ 第2次所沢市産業振興ビジョンの策定について（諮問） ・ （事前配付）所沢市産業振興ビジョン《後期アクションプラン》
担 当 部 課 名	産業経済部 部長 小池 純一 産業経済部 次長 加賀谷 春恵 産業経済部 産業振興課 課長 石川 純也 主幹 町田 昌紀 副主幹 安齊 克徳 主任 濱仲 拓巳 主任 佐久間 香穂 主事 小山 夏葉 産業経済部 商業観光課 課長 松本 圭四郎 主幹 村田 貴紀 産業経済部 農業振興課 課長 前田 亘一 事務局 産業経済部 産業振興課 電話 04-2998-9157

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	開会
産業経済部長	委嘱状交付
産業経済部長	あいさつ
事務局	委員の任期について説明
各委員	自己紹介
事務局	自己紹介
事務局	会長、副会長の選出 本推進会議条例第 5 条の規定により、委員の互選により会長及び副会長を選出する。選出の間、産業経済部長が仮議長として議事の進行をする。
産業経済部長	会長及び副会長の選出について、推薦・意見はあるか。
委員	初めて参加する委員も多いので、事務局案があれば聞きたい。
事務局	今期の推進会議は 11 名の委員の内、約半数の 5 名の委員に新たに就任いただいていること、また、今年度と来年度は次期ビジョンの策定を行うことから、正副会長については前期に引き続き、河藤委員に会長を、三上委員に副会長をお願いしたい。
産業経済部長	意見はあるか。
各委員	異議なし
会長	あいさつ
副会長	あいさつ
事務局	会議の公開・非公開の取扱い これからの進行については、本推進会議条例第 5 条の規定により、会長に議長をお願いする。 議事に入る前に、本推進会議における会議の公開及び議事録の作成の取扱いに関して、確認をお願いしたい。 事務局案としては、会議録の記載は要約方式、発言者は単に「委員」として個人名を表記しない方法にしたいと考えている。 議事録については、今後、会議資料となるとともに、公文書公開の対象文書となる。 議事録は、各委員に確認の上、会長の承認をもって確定としたいと考えている。

会長	会議の公開・非公開について、会議の原則公開に従い、本推進会議は「公開」とし、審議の過程で、公開することにより、著しい支障が生じることが想定される場合には、改めて皆様にお諮りする。 議事録の作成について、会議録の記載は「要約方式」、発言者は「委員」とし、議事録の確定は各委員に確認の上、会長の承認をもって確定とすることによいか。
各委員	了承
会長	議事を進める。本日、傍聴希望者はいるか。
事務局	傍聴者はいない。
会長	それでは、諮問について事務局より説明をお願いします。
産業経済部長	諮問書を会長に手渡す。
会長	それでは、議事に入る。
会長	議事（１）所沢市産業振興ビジョン及び本推進会議について 議事（１）について事務局より説明をお願いします。
事務局	資料１及び所沢市産業振興ビジョン《後期アクションプラン》に基づき説明
会長	質疑、意見はあるか。
委員	次期ビジョンを策定するにあたり、コンサルタント事業者を選定するという話があった。コンサルタント事業者は分析や調査に非常に長けている。ただ、どういう方向でビジョンを組み立てていくか、理念をどうするか、そういうところは推進会議で考えていくことになるので、連携・活用していければ良い。
会長	議事（２）第２次所沢市産業振興ビジョンについて 議事（２）について事務局より説明をお願いします。
事務局	資料２に基づき説明。
会長	質疑、意見はあるか。
委員	人流調査は毎年やらないのか。人流データは商工会議所としても重要だと考えている。街の活性化として、どこに人が集まって、どこへ流れていくかが分かると非常に観光に役立つ。単年度ではなく、予算化してもらった方が良くと思う。
産業振興課	今まで、人流分析のような観光に関する調査は行ってこなかったため、次期ビジョンを策定するにあたって予算化したもの。「引き続きの予算化を求める」という推進会議からの要望を出していただくことは可

	能と考える。
委員	ぜひ検討をお願いしたい。観光協会もデータは大事だと考えていると思う。
委員	データがあると非常に役に立つ。観光協会は会長が変わり2期目で、試行錯誤しながらやっているが、まだ実績が無いというのが正直な実情。その中で、タッグを組んでやりたいと思っている。ビジョンを見ると、ライオンズや遊園地やスポーツとの連携を強化するという記述があるが、観光協会としてはそういったところとの関係が密になれていない。市や協会が連携して、街にも訪れてくれるようなプランを目指していければと思う。 もう一つ、劇的に変わったところといえば、東横インができたことで宿泊客をしっかりと確保できるようになったことは大きい。そこが成功すれば次に繋がる可能性があるし、宿泊できることが当たり前になると宿泊者に向けてできることも増えてくるので、ターニングポイントになると思う。泊まることが前提の街になることによって、既存のホテルも埋まるし、足りないということであれば新たなホテルを、という気概が見えるような市になっていけたらと思う。
委員	人流については、一般的なデータかもしれないがRESASが使えるのではないかと。行政の方が詳しく見ることができるのではないかと。なので活用を検討していただきたい。
委員	経済センサスは5年に1回の調査なので、データを取ってくる年度によっては現在と変わっている可能性もある。また、商業統計調査は廃止され、別の名前になっていたと思う。
委員	コンサルタント事業者と確認し、最も新しいデータを反映できるようにしてもらえればと思う。
委員	人の流れのデータで言うと、所沢の人の流れを携帯電話の位置情報で調べた番組が何年か前にあったはず。 また、委託業務の件についてだが、「委託業者からの独自の提案」とあるが、これとは別に「推進会議からの意見」として調査項目を追加してもらうことは可能か。
産業振興課	委託業者はいるが、推進会議からの提案・意見に沿って策定を進めていく。ただ、新たに調査については費用がかかるものであると、調査自体を追加することは難しいかもしれない。事務局で動けるものであればなるべく動いていく。
委員	統計的な手法を扱う専門性の高い調査は、専門家に任せた方が良い。 定例的に実施している調査なら推進会議にご相談いただく必要はないが、今回は新たなビジョンを作るので、調査の内容を事前に推進会議に提示してもらいたい。推進会議としての方向性と調査がマッチングするようにした方が良い。

委員	所沢市が調査しないといけない部分があると思うし、推進会議としてはこういうところを見たいという意見もある。会長に見てもらい、折り合いをつけてもらえればと思う。
委員	事業者が決まってからでよいので、可能な範囲内で有効活用できるよう検討したい。その際には、各委員にもお諮りしたい。
委員	事業者が推進会議の内容や意向を汲んで課題・論点を整理してくれるのであれば、それを踏まえて事務局で調整してもらえればと思う。
産業振興課	事業者には必ず、推進会議の意見を取りまとめて「この方向でコンサルを」という形でやっていくので、その範囲でできる限り進めていく。
委員	第6次所沢市総合計画が令和10年度までだが、ビジョンは令和9年度まで。ビジョンは総合計画の下部計画なので、総合計画と整合性をとる必要があるが、その点は大丈夫か。
産業振興課	計画期間については、産業振興ビジョンの策定当初より、産業施策の骨子を先に産業振興ビジョンで決めて、それを総合計画に反映させるという位置付けとしている。今回は、第7次総合計画の1年前に第2次産業振興ビジョンを策定し、その内容を第7次総合計画に反映させていく考えである。
会長	議事（3）今後のスケジュールについて 議事（3）について事務局より説明を求める。
事務局	資料3に基づき説明。
会長	質疑、意見はあるか。
委員	2年に1回の意見書の作成は行うのか。
産業振興課	策定業務と同時並行で、通常の役割である進捗管理も行うため、意見書の作成をお願いする。1次計画の総括的な内容も必要と考える。
会長	所沢市産業振興ビジョンに対する意見や感想を各委員から求める。
委員	初めて参加したので、これからしっかりついていければと思う。事務局スケジュールの中でも、産業関連団体のヒアリングとして観光協会の名前があったので、しっかり話し合えればと思う。 ビジョンについては、策定時には想定していなかった事態が起きたり、いろいろ変化がある中で今後10年の計画を作るとはすごく難しいと思う。リアルタイムの変化を追っていかないと実態が見えてこないかと思うので、意見を出し合いながらしっかり話し合いをしていきたい。
委員	ビジョンの冊子の38ページ。コロナで悪いことだけではなく、在宅勤務の増加でAIが発達するなど、良いこともあった。今こういうところが困っているからこの先どうする、というよりかは、過去にあったことをど

	う捉え、乗り越え、対策したのか、これから先に似たような大きな問題が起こった時、過去の経験からそれに対してどうするのかというところをこれから先の１０年のビジョンに入れられたら、と思う。 また、過去に推進会議で座談会があったのは良かった。市役所も思いがあってビジョンを作っている。委員側から質問したことに答える一方行だけでなく、双方向でコミュニケーションをとりたい。
委員	細かいところになるが、５３ページで商店街の活性化という内容がある。「魅力ある商店街創出支援事業」と「空き店舗活用・新規創業支援出展補助事業」の直近の実績があったら教えてほしい。
商業観光課	「魅力ある商店街創出支援事業」は予算３０００万円前後で、執行率は８割程度。「空き店舗活用・新規創業支援出展補助事業」は予算２４０万円で執行率はほぼ１０割。
委員	県北に行くとシャッターが閉まっている店が目立つ。所沢市はまだ元気な商店街が多いと思うが、空き店舗対策は重要。引き続き力を入れていくべき。 また、事業者がデジタル化、ＤＸ化にもついていけるよう支援を続けていただきたい。
委員	企業支援をする際、「実現可能性」ということを一番重視している。３６、３７ページにあるように、様々な事業に商工会議所も実働部隊としてお手伝いをしている中で、一つ一つ丁寧にやっているというのが正直な感想。いろいろな見直しはあると思うが、今後もお手伝いをしていきたい。 また、提案になるが利用する２次データはなるべく最新のものを利用した方がよい。先ほど他の委員から話もあったが、ＩＴやＩＣＴの進歩は「走っている電車に飛び乗る」ような感覚である。しっかりと事業者が対応できるような形で支援をしていければと思う。 今上手くいっていることをさらに伸ばすのか、それとも弱みを克服するのかでビジョンも大きく振れると思う。どちらも正解だと思う。 皆さんの意見や調査結果を参考にしながら議論をできる会議になればと思う。
委員	こういう街になったらいいな、こういう街にしたいな、というものをビジョンに携わって非常に興味深く聞いていた。商店街という立場で参加をしているので、その立場で先ほどの空き家対策を聞き、所沢市には３０数か所商店街があるなかで、プロペ通りは空き店舗がほぼ無いが、商店街によっては後継者がいないといった悩みを抱えているところもある。「商店街の活性化」と一言で表しても、場所によって抱える課題は全く違う。そういったことをビジョンに落とし込むことは非常に難しいと感じている。プロペ通りではＡＩカメラを導入しているが、人流データがあることで、商店街のリーシングにも非常に役立っている。人流データを行政と共有して活用していくことについては、協力しながらやっていければと思う。
委員	農協の長年の課題と、行政の示す政策の表現がほぼ一緒。正解がない中で悩みながら事業に取り組んでいるが、農業振興や農業経営の安定化、農家の経営改善や農地の問題は２０～３０年前からずっと課題となってい

委員	る。既存産業の活性化や、新たな展開、という基本方針が出ているが、アプローチしながら見直して有効な方向性や将来のあるべき姿を示していくことは難しい作業だと思う。 ビジョンを読み、イメージとしては「住みやすい街」の先の「働きやすい街」を目指すものと感じた。働きやすい、かつ住みやすい街はすごく魅力的な街であると思う。 所沢市が出ていたテレビ番組を見ていて、商店街にお店を出す際、経験が少ない事業者を周囲がサポートしてお店を軌道に乗せているというシーンがすごく印象的だった。企業に来てもらうだけでなく、「育てていく街」だということを伝えたら、所沢に行ってチャレンジしてみようと思う人が増えるのではないかと思った。
委員	住んで、働いて、学んで、というところが所沢の良いところだと思う。 自分も農業というものは、本当に大切な部分で、所沢の財産だと思っている。里芋の子芋はブランド化するべきだとずっと言い続けている。是非世界に出していただければ。そして所沢の人がしっかり食べられれば。 住む方が、ここで働き、学んでもらう場所を提供するのが我々の役目。これからも努力していきたい。
委員	イノベーションを基本に据えを検討しても良いと思う。イノベーションの言葉は「技術革新」として使われることが多いが、経営革新等、多くの要素を内包している。働き方改革によって生産性を上げていく、ということもある。分野横断的な観点から考える必要がある。デジタル化、DX化といった言葉についても同じことが言える。施策体系にはそれぞれにコアの目標があるが、それをベースで支えるという意味で、イノベーションという概念を導入することも一つの方策として考えられる。
会長	議事（４）「その他」
事務局	議事（４）「その他」として事務局より連絡事項はあるか。
事務局	第２回の会議については、令和８年８月１９日 水曜日に開催を予定している。 正式な通知等は後日送付する。
会長	議事は以上となる。進行を事務局に返す。
事務局	閉会 以上